

後藤先生への質問

1	<p>三ツ星ラベルやKATラベルについて、ラベルの有無や星の数によって卵の価格は変わるのでしょうか？変わるのであればどのくらい値段が高くなって、消費者はどのようにその高価格を受け入れているのでしょうか？</p>	<p>AWの評価ラベルで価格は異なり、1.2～2倍程度の開きがあります。消費者は評価ラベルにおける意味を理解した上で、それぞれの価格の卵を購入しています。</p>
2	<p>①新村さんが加藤らの研究として、日本におけるエンリッチドケージ卵価に対するエイビアリィ卵価が1.33倍、平飼い卵価が1.73倍を紹介しました。オランダのそれらに関する情報を教えてください。</p> <p>EUでの飼育方式別小売卵価（2022年11月）をみると、エンリッチドケージ卵価に対するバーン卵価は1.13倍と報告されています。オランダでもその程度でしょうか。もしそうなら、日本のケージ代替システム卵価の高さの要因について、考えるところがあればお教え頂ければ幸いです。</p> <p>②ケージフリーや断嘴禁止を進めるとつつきやカニバリズムの発生率が上昇し、生存率は低下するのではないのでしょうか。これらを進めているEUの国でのデータ等があれば教えてください。</p>	<p>①AWに配慮した飼養方法では単位面積当たりの飼養羽数が大きく減少しますので、卵価は上がります。倍率はオランダを含むヨーロッパでほぼ同じです。</p> <p>②つつき等で生存率は低下しますが、つつきやカニバリズムの発生による具体的な低下率データはありません。藁塊の設置や、鶏種を褐色から白色へ変更することでつつき問題回避を試みています。育種会社はつつき発生の少ない鶏種の開発を進めています。</p>
3	<p>ケージフリーにすることで挙げられていたいくつかの課題は、これまでの鶏の育種改良の方向性に反したものとなっているように感じるが、今後、大手育種会社はケージフリーに対応する鶏の育種改良へと舵を切るのか。また現在そのような鶏の改良を行っている実績等はあるのか。</p>	<p>育種会社はこれまでの育種改良の方向性を変えることはありません。ただし、AW（ケージフリー）に対応・適応するための新たな形質（生存性、羽装性。温順性等）に着目し、改良形質を追加してきています。</p>

4	<p>①卵の生産のための品質管理システムは、ほぼ100%の農家が参加しているとのことですが、日本でいう農場併設の直売所のような小さなところでも参加しているのでしょうか。</p> <p>②KIPSTAR（キプスター）で雄ヒナは肉用にしているとのことですが、普通の卵用鶏種でしょうか。それとも卵肉兼用のような鶏種を使っているのでしょうか。</p> <p>③オス雛淘汰規制の対応で卵内鑑別の研究が進んでいるようですが、卵肉兼用やオスも利用するという対応は広まらなかったのでしょうか。</p> <p>④EUアニマルウェルフェアの動向で、従来ケージからエンリッチドケージへの移行が完了しているとのことですが、飼養システムの変化にともなって、農家戸数や飼養規模の分布に変化はあったのでしょうか。</p> <p>⑤アニマルウェルフェアの規制は、育種場や研究所、大学のようなところにも及んでいるのでしょうか。</p> <p>⑥種鶏場や育種鶏（エリートストック）でのアニマルウェルフェアに対応した取組み事例はありますか。</p> <p>⑦育種鶏での取組み事例がある場合、飼養方法や個体ごとの産卵や卵質などのデータ採取は、どのように実施されておりますでしょうか。</p>	<p>①生産のすべての卵を直売できる農家は参加していない可能性は考えられます。</p> <p>②キプスターで飼養されている鶏は、採卵用の白色レグホン種です。</p> <p>③卵肉兼用種の開発も進んでいます。しかし、兼用種メスの産卵性や採卵鶏オスの増体は経済的課題が多く、採卵鶏の鑑別対応のほうが経済的に有利です。</p> <p>④ケージフリーとなることで農家（農場）当たりの飼養羽数は当然減少しています。また、ケージフリー対応で経済的に成り立たなかった農家は廃業しています。</p> <p>⑤EU内でも国によって対応が異なっています。特にドイツでは厳しい対応を迫られているようです。</p> <p>⑥種鶏場は基本平飼い（もしくはエンリッチドケージ）です。育種鶏については、育種会社はAW対応の改良システムを開発しています。</p> <p>⑦カメラでの鶏個体の動作記録、脚のICタグの装着によるネスト内で産んだ卵との紐づけで、産卵や卵質のデータ採取を行っています。</p>
5	<p>卵内鑑別技術は日本でも研究されているのですか。また、低コスト、高コストとありましたが、具体的にどのぐらいのコストがかかりますか。</p>	<p>研究・開発中の事例のため具体的なコストを申し上げることはできません。研究段階では1個（1羽）の鑑別には数十ユーロセントから数十ユーロと幅広くあります。</p>